

保活最新事情 2018 ～希望の保育所に入所するには、どうすればよいか

今年も多くの育児休業を取得していた方が4月に保育所に入所し、職場へ復帰いたしました。保活が大変、とTVや新聞のニュースで報道される中、実際はどうだったのでしょうか。マザーネットでは、保活コンシェルジュサービスを開始し、5回目の春を迎えました。4月に入所した方たちの声などから、最新事情をお伝えいたします。

1. 保育所入所の現状 ～認可保育施設 1次選考の落選率

●東京23区と政令指定市の場合

<2017年>

東京23区		政令20市	
1 台東区	51.9	1 熊本市	39.4
2 目黒区	49.7	2 岡山市	36.9
3 文京区	44.8	3 川崎市	34.8
4 渋谷区	43.9	4 北九州市	32.5
5 中央区	43.2	5 さいたま市	28.6
6 中野区	42.4	6 福岡市	28.3
7 江東区	41.3	7 浜松市	27.0
8 港区	40.8	8 相模原市	26.9
9 大田区	40.5	9 横浜市	25.6
10 世田谷区	39.6	10 大阪市	24.7
11 江戸川区	39.0	11 千葉市	24.5
12 杉並区	37.2	12 仙台市	23.9
13 墨田区	36.9	13 神戸市	23.9
14 足立区	34.4	14 堺市	16.1
15 品川区	33.8	15 静岡市	15.3
16 千代田区	31.7	16 京都市	12.4
17 板橋区	29.9	17 名古屋市	9.8
18 荒川区	27.5	18 新潟市	0.0
19 豊島区	25.8	19 札幌市	回答なし
20 新宿区	21.3	20 広島市	回答なし
21 葛飾区	20.9		
22 北区	20.9		
23 練馬区	回答なし		

<調査概要>
実施：読売新聞本社
時期：2017年3月

<2018年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1 千代田区	44.6	↗	1 岡山市	36.9	→
2 港区	43.0	↗	2 川崎市	35.1	↗
3 江東区	41.3	→	3 札幌市	34.1	-
4 目黒区	40.5	↘	4 さいたま市	29.9	↗
5 中央区	39.8	↘	5 北九州市	29.8	↘
6 文京区	36.5	↘	6 神戸市	28.4	↗
7 世田谷区	36.0	↘	7 堺市	26.3	↗
8 大田区	32.9	↘	8 浜松市	26.2	↘
9 渋谷区	32.9	↘	9 大阪市	25.3	↗
10 墨田区	31.2	↘	10 横浜市	24.4	↘
11 練馬区	30.3	-	11 福岡市	23.4	↘
12 江戸川区	30.2	↘	12 熊本市	22.3	↘
13 杉並区	29.3	↘	13 仙台市	22.1	↘
14 足立区	27.2	↘	14 相模原市	19.9	↘
15 板橋区	25.5	↘	15 千葉市	16.0	↘
16 新宿区	24.4	↘	16 静岡市	13.1	↘
17 品川区	24.1	↘	17 京都市	10.5	↘
18 葛飾区	21.6	↗	18 名古屋市	10.4	↗
19 荒川区	21.5	↘	19 新潟市	6.9	↗
20 豊島区	16.9	↘	20 広島市	回答なし	
21 北区	16.5	↘			
22 台東区	回答なし				
23 中野区	回答なし				

<調査概要>
実施：朝日新聞
時期：2018年3月

※江東区、中央区、江戸川区は転園を含み、江戸川区は私立の2次募集分も含む。目黒区は家庭福祉員内定者も含む。葛飾区は一部の転出予定者を除く

※さいたま市、京都市、堺市は転園を含む
神戸市は転園に加え、他市からの申し込みも含む

●昨年4月時点で200人以上の待機児童がいた自治体の場合(朝日新聞調査による)

	落選率	申込者数	落選者数
1 福島市	47.7	1,075	513
2 千葉県市川市	40.1	3,104	1,245
3 沖縄県うるま市	39.4	1,456	573
4 沖縄県浦添市	39.2	1,619	635
5 東京都三鷹市	38.3	1,284	492
6 兵庫県西宮市	37.2	2,654	986
7 福岡県大野城市	36.7	532	195
8 東京都府中市	32.6	1,584	516
9 千葉県習志野市	30.9	896	277
10 東京都日野市	27.4	1,195	327

11 東京都調布市	26.9	2,027	546
12 鹿児島市	26.2	3,418	896
13 大分市	24.9	2,498	622
14 那覇市	17.1	2,284	391
15 東京都町田市	15.5	1,805	280
16 沖縄県沖縄市	9.9	5,263	523
17 高松市	8.7	2,307	201
18 兵庫県明石市	回答なし		

※三鷹市は5歳児が2次募集からのため含まず。鹿児島市は転園含む

2. 希望の保育所に入所出来た人の保活とは ～マザーネットに寄せられた声

	東京23区	その他のエリア
役所での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境は1～2年でも激変しているので、自分の住んでいる地域がどうなのかは、過去の情報だけに惑わされず、保活を始める前と困った時に、自分の住まいを管轄する役所に行って、情報収集をすることが大切と感じた。役所の方も待機児童を解消したいという思いは変わらないので、本当に保育所に入りたいと思っていることがわかれば親身に教えてくださる。 ・保活は5月から始めたのですが、認証保育園への電話に見学にと、本当に疲れました。区役所の保活相談に行った5月に、「今日すぐに認証に電話してください」と言われ、やってもやっても不安が拭えず、結局認証だけで13園に申し込みをしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域のことはその地域でしか分からない(隣市でも全然やり方・状況は違う)ので、まずは役所にどのような状況で、どうやって決めているのか確認した方が全体像が見えやすい。他の地域に住んでいる保活経験のある先輩に話を聞いても、ほとんど役に立たなかつたです(埼玉県深谷市)。 ・市の職員は、「早く申し込んでも意味ないですよ」、「何度も来ても意味ないですよ」という雰囲気ですが、市の子育て支援課や保育園に何度も足を運ぶことで、必死さが伝われば通りやすいような気がします(大阪府柏原市)。
見学について	<ul style="list-style-type: none"> ・申請する予定の保育園は、実際に見学した方が良いです。HPでは問題なさそうな保育園でも、行ってみたら、園長先生がちょっと変わっていて、数人の子どもが廊下の隅でうずくまっている保育園がありました。 ・たくさんの保育園を入園希望に記入して出したが、唯一見学ができなかった新規園に決まってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中に認可外の施設も直接確認したことで、認可に落ちた際にすぐに次の行動に移ることが出来ましたので、妊娠中から認可外施設の確認をしておくとうと思います(大阪府守口市)。 ・認可保育園の見学は、秋になってくると混みあうので、5～8月くらいまでに済ませておく、ゆっくり見学できるかもしれません(福岡市)。 ・保育園は見学する時期や時間帯によっても雰囲気が異なるので、可能であれば、同じ園でも何度か見学をした方が良いと思います。子育て支援センター併設の保育園であれば、支援センターを活用すると、情報を得られたり、保育園の雰囲気がわかりやすいです(千葉県流山市)。
妥協	<ul style="list-style-type: none"> ・ママ友の中でも激戦区であるにも関わらず、近い保育所や公立にこだわって絞って希望した方は、認可保育所に入れない方が多かった。無理のない範囲での妥協は必要不可欠だったと思う。 	
書類に関して		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の申込書類については、提出期限に余裕を持って準備することをおすすめします。会社からもらう就労証明書の関係で何度か郵送でやりとりするうちに、ギリギリになってしまいました(名古屋市)。 ・保育を必要とする理由の部分を具体的に書いた方がよいと思います。両親の住まいが遠い、両親はともに働いている、職場に短期で戻る必要がある等。兄弟が通っている園のことも、念のため園の志望理由のところに書いてアピールしました(大阪府堺市)。
心持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・保活は長期戦です。玉石混交の情報が入ってくると思いますが、一喜一憂せず、平常心を保つのが一番だと思います。 	

3. 2018年4月入所報告を受けて ～マザーネット保活コンシェルジュより

- ・全国的に新設の認可保育園、特に小規模(0～2歳児)が増えたことで、以前に比べると0歳児クラスは入所し易くなっていると感じた
- ・10月以降に出産予定の場合、翌年4月1日時点で満6ヶ月に達していないため、対象年齢で入所申請ができる保育園に限られるが、受入可能な保育園があれば4月入所0歳児クラスで申請するべきだと感じた。月齢が低いほど、一次申請が不承諾でも、二次、又はキャンセルの繰り上げで入所出来たケースが多かった
- ・新年度に入ってから、認可外は0歳児クラスに空きがある地域(中心地以外)も多く感じた
- ・特に厳しいのは1歳児クラスで、兄弟加点があっても厳しく、入所出来た家庭は全員兄弟加点組、というケースも多かった
- ・全国的に認可外保育園が減っている。小規模、又は都内であれば認証に移行しているケースも多いが、あわせて認可外に預けて早期復帰した場合の加点が実質無くなっている自治体が多い(育休明け申請と同等)
- ・今までのように、入所出来次第復帰する、という流動的なスケジュールではなく、1歳まで育休取得後に復帰、又は4月0歳児入所で復帰する等、配偶者や協力してもらった家族とは、出産前から復帰時期についてよく話し合っ保活を進める必要がある
- ・小規模卒園後の3歳児クラスの入園も大変厳しい。既に就業中という家庭の状況も同じなので、差もつかず、利用調整でも大変難しいとの説明があった。実際に保育園3歳児クラスへの転園が難しく、退職を避けるために幼稚園の延長保育を利用するケースもあった